

脱炭素まちづくりアドバイザー紹介

氏名	木村 誠一郎	所属	一般社団法人離島エネルギー研究所	
専門領域	脱炭素計画、地域新電力、再エネ・蓄エネ・水素エネ導入計画、太陽光、風力、地熱等	居住地域／活動地域	長崎県五島市在住／五島列島および九州内	
		派遣形式	スポット型、伴走型	
略歴	<p>2004年三菱重工業に入社、2010年まで長崎研究所にて水素エネルギー開発に従事。九州大学カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所を経て、2014年より2018年まで松下政経塾生。松下政経塾在塾時より、自国資源によってエネルギー自給率を高め、ひいては海外へエネルギーを供給できる国（エネルギー融通国）を目指し、五島列島をエネルギー融通国のミニチュア版とするプロジェクトを実施。東京理科大学卒、東京工業大学大学院修了、九州大学大学院工学府修了（工学博士）。また、（公財）自然エネルギー財団上級研究員、九州大学カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所招聘准教授を兼任。技術士（機械部門）。</p>			
過去の地方公共団体との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・2016年より：五島市再生可能エネルギー産業育成研究会コーディネーター ・2019年より：地域新電力「五島市民電力株式会社」の運営を受託 ・2020年：五島市スマートアイランド推進実証調査業務のうち、エネルギーマネジメントシステムの調査を実施 ・2022年：五島市ゼロカーボンシティ計画策定委託業務を受託し、同計画策定に従事 https://www.city.goto.nagasaki.jp/energy/010/010/20190118212254.html 			
一言	<p>私が普段過ごしている五島市は高校を卒業した若者の多くが島外に引っ越していきます。慢性的な人手不足や後継者不在も起こっており、事業継続が難しいケースもあります。人が住み続けられる地域にするにはどうすれば良いか。私はそのカギの一つに、環境省が提案する「地域循環共生圏」があると考えています。</p> <p>5割以上の自治体でエネルギー収支が域内総生産（GRP）の5%以上赤字との分析もありますが、もしこれが改善できれば、域内の所得はそれだけ向上します。そして、地域には豊富な再生可能エネルギー資源があります。世界的な脱炭素の流れの中、地球全体のため、そして地域のために、再生可能エネルギーによる脱炭素まちづくりを進めていきましょう！</p>			
参考URL	<p>プロフィール (https://www.mskj.or.jp/profile/seiichiro-kimura.html)</p>			